



活動参画を呼びかけた森山さん(左)＝高田町

子ども健康育もう

新プロジェクト発起会

陸前高田

陸前高田市の子どもたちの健康推進に向けた「Blooming TAKATA」(仮称)プロジェクト発起会は21日、高田町の市コミユニティホールで開かれた。子育て世代の親を対象とした勉強会や情報交換などを通じて、参加者同士が顔の見える関係を築き、健やかな成長を後押しする計画。参加者は、学習会など今後具体的な取り組みを推進していくことを確認した。

プロジェクトの発起人を務めているのは、県立大船渡病院小児科医長の森山秀徳さん(38)と、高田町・吉田歯科医院副院長の吉田重之さん(33)。子どもたちの健康には支援にかかわる多職種連携が重要とされる中、市とも連携しながら協働推進のプロジェクトを立ち上げた。

医療、保健、子育て、教育など子どもにかかわる分野の関係者約30人が出席。市健康推進課から現状説明があり、1歳半や3歳半健診におけるむし歯がある子どもの割合や、3歳半健診での「肥満度15%以上」の割合が示された。いずれもほぼすべての年度で県平均を上回っている。

引き続き森山さんが講話を行い、市内の子育て環境に関しては「子どもの問題を統括する場の不足」を短所の一つに挙げた。そのうえで子育て世代の親に対する勉強会、情報交換会の開催をプロジェクトの方向性として掲げた。

吉田さんも口と歯の健康は生涯にわたり生活に密着するとし、乳幼児期からのケアの重要性を強調。栄養や食育も含めた心身の健康づくりの大切さにもふれた。

自己紹介をばさみ、名通りと化した。今後は学習会やインターネットを提案。正式名は「花を咲かせる」など、などを展開することになっている。

子の健康改善へ連携

陸前高田市の子どもの健康改善を目指すワーキンググループ「Bloom ing TAKATA(ブルイミングタカタ)」が21日、発足した。同市は肥満と虫歯が大きな課題。医師や子育て支援団体など幅広い分野の識者らが連携し、健やかな成長を守るための知識共有や情報発信に努める。

陸前高田



医師、父母ら新組織 重点課題は肥満と虫歯

発起会を同市高田町の市コミュニティホールで開き、呼び掛け人の森山秀徳(東大船渡病院小児科医長38)、吉田歯科医院(同市高田町)の吉田重之副院長(33)、父母ら約30人が出席。同市の子どもの健康状況を確認した。

森山さんは、東日本大震災後、小学1年、中学3年の子どもの肥満出現率が高くなったとの統計調査結果を紹介。吉田さんは昨年度、同市の3歳半の子の虫歯有病率が県内ワーストだったことを説明した。

同市の健康課題はほかに子どもの遊び場不足や震災遺児らの心のケアなど多岐にわたるが、専門家が不足し、連携できずにいた。

「Bloom」は英語で「花」。グループ名には「健康に育ち、

参加者に陸前高田市の子どもの健康や子育て環境について説明する森山秀徳医長(左)

陸前高田で花を咲かせ「子どもの健康のため。してほしい」との願いが改善できる点には協力込められた。今後、学習会や住民参加型勉強会、インターネットを活用した情報発信などを展開し、支援ネットワーク構築を目指す。森山さんは「全ては1)へ。

子どもの健康のため。改善できる点には協力しながら対策を取らなければならぬ」と決意を新たにする。

入会希望の団体・個人は市健康推進課(0192・54・2111)へ。